

計画名：島民の不便・不安を解消する夢
の架橋の実現と離島の基盤づくり

道路維持課、道路建設課

社会資本総合整備計画 事後評価書(中間評価書)

令和 3 年 9 月 6 日

計画の名称	1 島民の不便・不安を解消する夢の架橋の実現と離島の基盤づくり		
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)	交付対象	愛媛県、宇和島市、上島町
計画の目標	本県の瀬戸内海や宇和海に多数点在している離島地域(全国3位)では、過疎化や高齢化が進行し、内地との格差が大きく、医療・福祉・公共交通など多くの面で後進性を有しているため、生活道路の整備や離島架橋に取り組み、島民の不便・不安の解消と安全性の向上に加え、離島の地理的・自然的特性を生かした観光・産業の振興を図る。		

計画の成果目標(定量的指標)	①島内移動利便性確保率が78.5%(H27当初)から81.0%(H31末)に向上する。 ②離島架橋事業主要段階到達率が62.5%(H27当初)から87.5%(H31末)に向上する。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考							
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)									
① 離島振興法で位置付けられている離島内の県管理道路における改良済延長の比率を算出。 島内移動利便性確保率=離島内の県管理道路改良済延長/離島内の県管理道路延長 目標値: 79% 実績値: 79%	79%	80%	81%	98%	用地買収の交渉等により遅れが発生した箇所について、当初計画通りに事業が執行できなかったことから、計画内の事業が完了できなかったため、目標に対し約2ポイントの改良率が達成できなかった。							
② 離島架橋における主要4段階(事業着手、用地買収着手、工事着手、開通)到達数の合計比率を算定する。 離島架橋事業主要段階到達率=各橋梁の主要段階到達数の合計/主要段階数×離島架橋数 目標値: 63% 実績値: 88%	63%	88%	88%	100%	-							
全体事業費(計画)	合計(A+B+C)	18318百万円	A	18252百万円	B	0百万円	C	66百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.4%	進捗率 (実施事業費/全体事業費)	73.1%
実施事業費(最終)	合計(A+B+C)	13382百万円	A	13371百万円	B	0百万円	C	11百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.1%		

1. 交付対象事業																			
A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業 者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率 (%)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1				
2-A1-001	道路	離島	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)岩城弓削線 上島架橋(2)	離島架橋 L=2.0km	上島町					14,000	10,454	74.7		
2-A1-002	道路	離島	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)横浜生名港線 久保の谷~前新開	バイパス L=0.67km	上島町					272	113	41.5		
2-A1-003	道路	離島	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)岩城環状線 岩城海原~浜	バイパス L=0.5km	上島町					900	426	47.3		
2-A1-004	道路	離島	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)喜路能登線 日振島(2)	現道拡幅 L=0.14km	宇和島市					204	148	72.4		
	道路	離島	愛媛県	直接	-	県道	改築	(主)中島環状線 畑里~中島栗井	現道拡幅 L=0.50km	松山市					500	0	0.0		
2-A1-005	道路	離島	宇和島市	直接	-	市道	改築	(1)坂下津1号線 蛤~坂下津	離島架橋 L=1.14km	宇和島市					2,178	2,120	97.4		
2-A1-006	道路	一般	宇和島市	直接	-	市道	改築	(1)坂下津1号線 坂下津	現道拡幅 L=0.50km	宇和島市					30	20	65.0		
2-A1-007	道路	離島	上島町	直接	-	町道	改築	(1)佐島循環線 第1工区	現道拡幅 L=0.24km	上島町					69	62	89.9		
2-A1-008	道路	離島	上島町	直接	-	町道	改築	(1)佐島循環線 第2工区	現道拡幅 L=0.32km	上島町					28	28	100.0		
2-A1-009	道路	離島	上島町	直接	-	町道	改築	(1)稲浦幹線	現道拡幅 L=0.50km	上島町					71	0	0.0		
合計											18,252	13,371							

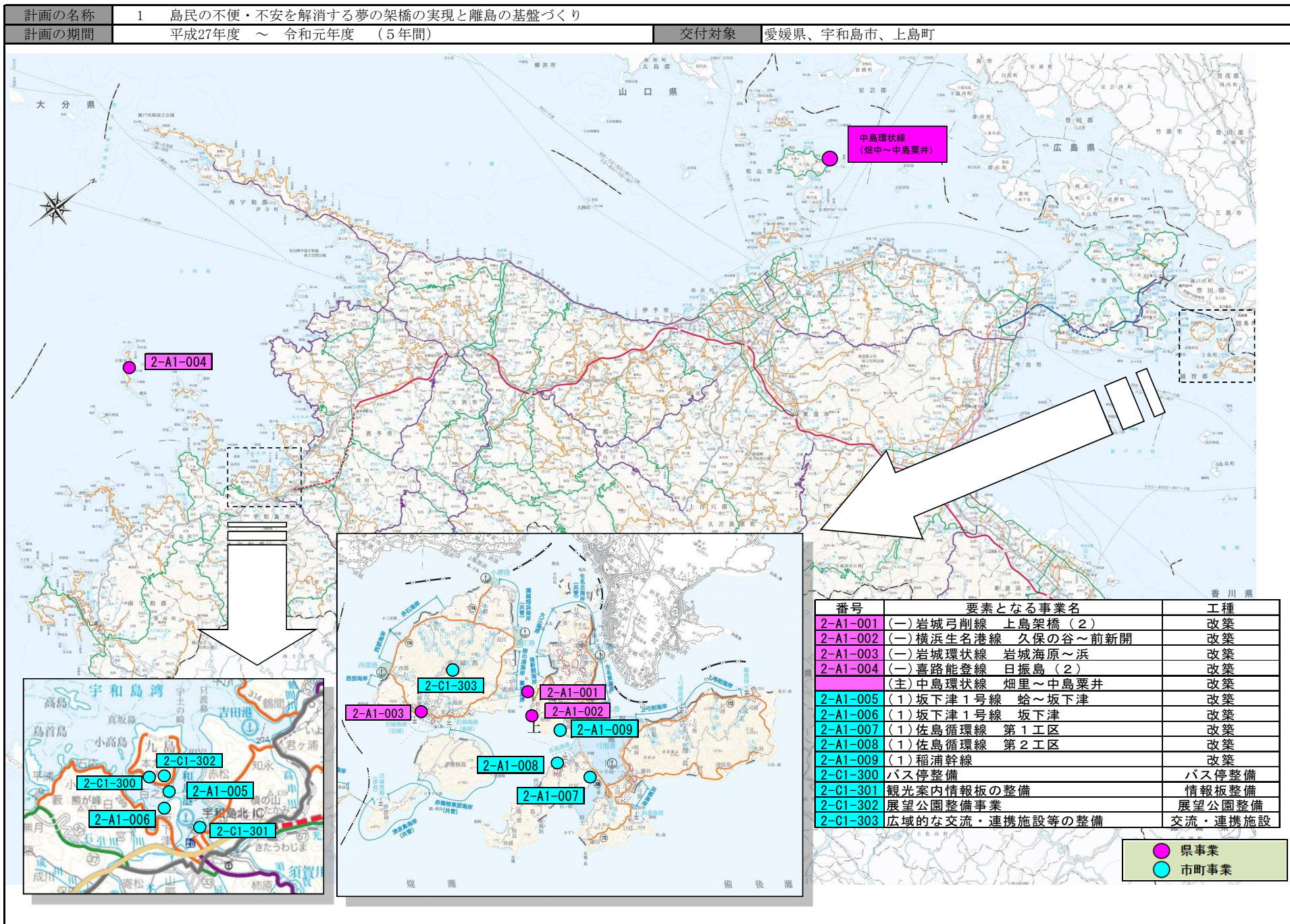
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	全体事業費 （百万円）	進捗率 （%）	備考
										H27	H28	H29	H30	R1				
2-C1-300	施設整備	離島	宇和島市	直接	—	バス停整備	バス停整備	バス停整備 1箇所	宇和島市						12	0	0.0	
2-C1-301	施設整備	離島	宇和島市	直接	—	情報板整備	観光案内情報板の整備	観光拠点に5箇所	宇和島市						12	0	0.0	
2-C1-302	施設整備	離島	宇和島市	直接	—	展望公園整備	展望公園整備事業	展望公園整備3箇所、 遊歩道整備1箇所	宇和島市						31	0	0.0	
2-C1-303	施設整備	離島	上島町	直接	—	交流・連携施設	広域的な交流・連携施設等の整備	交流広場5600m ² 、共同炊 事場1棟、トイレ施設新設5 棟、改修2棟・イベント設 備、駐車場整備、遊歩道 整備	上島町						11	11	103.6	
										合計					66	11		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
2-C1-300	(1)坂下津1号線(2-A1-005,006)の道路整備とあわせて、バス停及び終点におけるバスの待機場所の整備により、架橋後の新たな島民の移動手段となるバスの円滑な運行を図る。	
2-C1-301	(1)坂下津1号線(2-A1-005,006)の道路整備とあわせて、観光案内看板を設置することにより、観光客への情報発信と観光地への円滑な誘導を図る。	
2-C1-302	(1)坂下津1号線(2-A1-005,006)の道路整備とあわせて、九島大橋(仮称)及び風光明媚な宇和海のリアス式海岸を眺望できる場所にそれぞれ展望公園及び遊歩道、転落防止柵等の安全施設を整備することにより、観光客を誘致し地域の活性化を図る。	
2-C1-303	(一)岩城環状線(2-A1-003)と合わせて、島内の交流施設を整備し、町内外の広域的な交流・連携を促進するための基盤整備を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業（各要素事業）の 効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> （一）横浜生名港線（上島町）のバイパス部が平成29年度に完成し、島内移動利便性確保に寄与した。 離島架橋事業の九島大橋（2-A1-005）については、平成27年に供用を開始し、離島の振興に寄与した。
II 定量的指標以外の交付対象事業の効果の 発現状況 （必要に応じて記述）	
3. 特記事項（今後の方針等）	
令和2年度からは別整備計画に移行し、事業を推進する。	

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

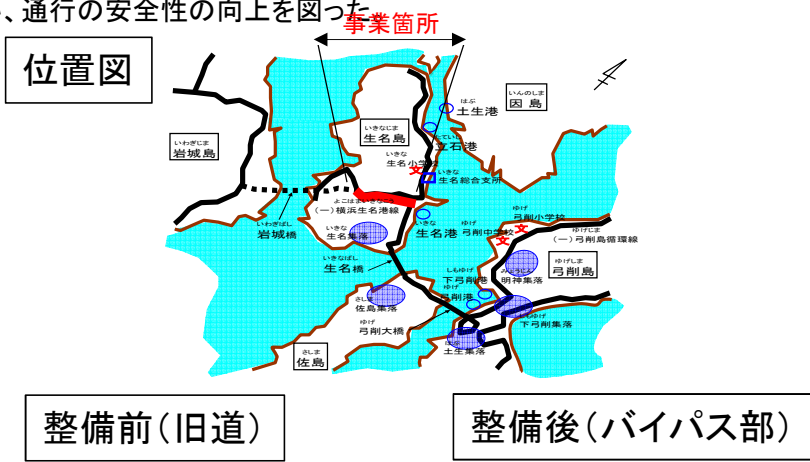


事業概要

一般県道 横浜生名港線【久保の谷～前新開】

一般県道横浜生名港線は上島町生名横浜を起点とし、生名島中心地を通過し立石港に接続する路線であり、現在施工中の生名橋及び上島架橋事業の最後となる岩城橋を連絡し、上島町内から因島等への安全・円滑な通行を確保する重要な路線である。

事業箇所は、島民にとって、町内及び他島への移動、仕事、医療、買い物など日常生活において欠かせない区間であるが、幅員狭小で線形も悪く、車両及び自転車歩行者が錯綜している状況であったため、バイパス整備を行い、通行の安全性の向上を図った。



整備前(旧道)

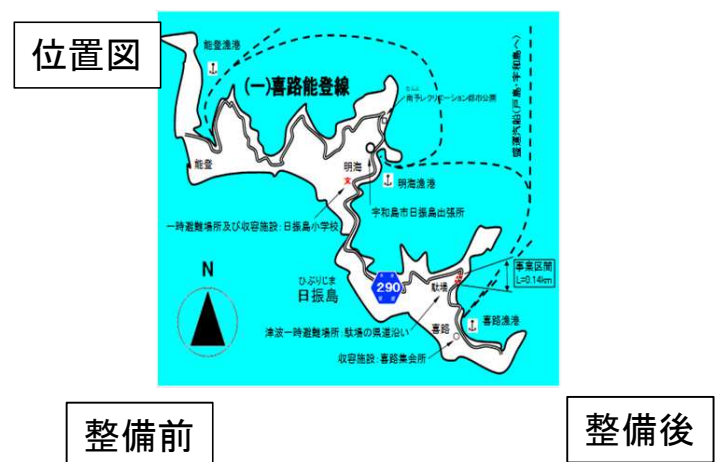
整備後(バイパス部)



一般県道 喜路能登線【日振島(2)】

一般県道喜路能登線は、宇和島市日振島の喜路地区を起点とし、中央部に位置する明海地区を経由し能登地区に至る延長11.3kmの道路であり、3つの集落を結ぶ島内唯一の道路として、日常生活や産業活動等において重要な役割を担っている。

事業箇所は、東南海・南海地震等の大規模災害時には津波浸水区域からの避難路として利用されるが、幅員が3.0mと狭小で、車両等の離合に支障をきたしていることから、改良整備を行い、安全性の向上を図った。



整備前

整備後

